

Chapter35: Fifteen ways to improve Classroom Assessment

筆者 (Brown & Trace) の主張

- ・ 教室の目的とテストの一体化：教師がテストをつくる

趙さんの主張

- ・ 実際の経験として標準テストが多かった。この場合は教師はテストを作れない。。どうしたらいいか？

- ・ 教室の目的とテストの一体化：目的はどのように作成されるべきか？

→ 「ニーズに合わせる」

→ shifting the students' views on language learning

→ 何にshiftさせていくのか？ (教師の信念, カリキュラムの位置, 将来像)

- ・ テストのフィードバックで何をフィードバックさせていくのか

・ 教師の「既存の信念」に対して, 「実際のズレ, 矛盾, 未到達な現状」を客観視させていく。→ それが「次の一手」につながる。→ 「教室の“improve”につながる」

- ・ 「見えない技能, 能力, 見えない考えを見える化」のためには「アイテム」が必要！

→ どんな「アイテム」が大事なのか？